



排出量

スコープ1と2を合わせた排出量は前年比で5.4%減り2万7249 ktCO₂e.

労働災害

労働災害による死亡者は16人、2020年以来で最低

企業統治

ゴールド価格の上昇で所得税とロイヤルティも上がり、政府への支払いは前年比で12%増加して91億ドル

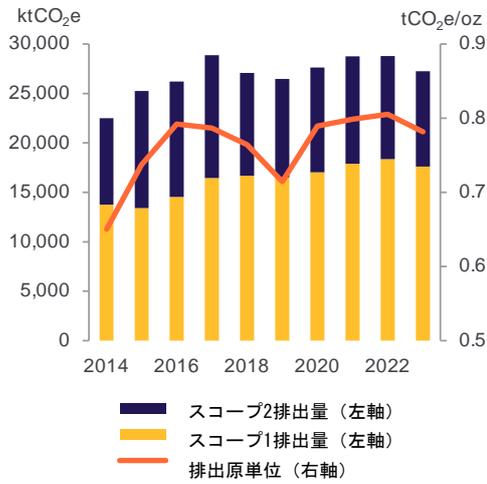
『Gold ESG Focus 2024』発表

産金企業の環境・社会・企業統治 (ESG) に関する我々の年間レポート『Gold ESG Focus 2024』が9月5日にロンドンで行われたイベントの席で発表された。このレポートは産金大手17社に関して、過去10年間をESGの指標を使って幅広く分析を行ったもので、本稿では主要点を紹介していきたい。

スコープ1と2を合わせた2023年の温室効果ガス排出量は前年比で5.4%軽減
産金企業では地球温暖化の状況を把握する主な数値であるスコープ1、2、3の温室効果ガス (GHG) 排気量を計測している。スコープ1と2は生産現場での直接、間接の排出量で、スコープ3はバリューチェーンの中で発生する間接的な排出量を示す。従来はスコープ1と2の排出量の把握が主眼だったが、2023年は温暖化ガスの影響をより包括的に捉えるべく、スコープ3の排出量にも重きが置かれている。

大手産金企業のスコープ1と2を合わせた排出量は前年比で5.4%減って2万7249 ktCO₂eであった。炭素排出原単位の平均も前年比で3%減り、ゴールド生産1オンスにつき0.78 tCO₂eであった。Barrick社のスコープ1と2の排出量は前年比で5.2%軽減して6359 ktCO₂eだったが、前年同様に排出量は産金企業最大であった。同社は排出量を減らすべくTS太陽光発電工場を稼働させ、ネバダ州での生産には電気自動車を採用している。炭素排出原単位での排出量が最高だったのはHarmonyで3.03 tCO₂e/oz。火力発電によるエスコムの電力供給に依存しているが、太陽光発電への切り替えを加速している。17社全体のスコープ3排出量は前年と変わらず2万5334 ktCO₂eだった。Newmontが4778 ktCO₂eで最も多かったが、Carbon Reduction Fundに5億ドルを拠出するなど軽減努力を行なっている。

温室効果ガスの排出量と排出原単位



出典: 各社レポート、メタルズフォーカス

政府への支払いは前年比で 12% 増えて 91億ドル、地域プロジェクトへの支出は 16% 減って 3億3300万ドル

産金企業は規制に則った生産活動を行い、地域貢献のため政府及び生産活動を行なっている地域に対して多額の支払いや援助を行う。これには税金、ロイヤルティー、資材の地元調達、地域コミュニティの社会的・経済的発展に向けた投資などが含まれる。

2023年の産金企業の政府への支払いは前年比で 12% 増えて 91億ドルに達した。2022年は支払いが減ったが、2023年を期に今後は長期的にわたって増える傾向に戻る予測。ゴールド価格の上昇のおかげで収益とロイヤルティーが上がったのが背景で、前年比 8% 増となった Barrick の 28億ドルが最大だった。

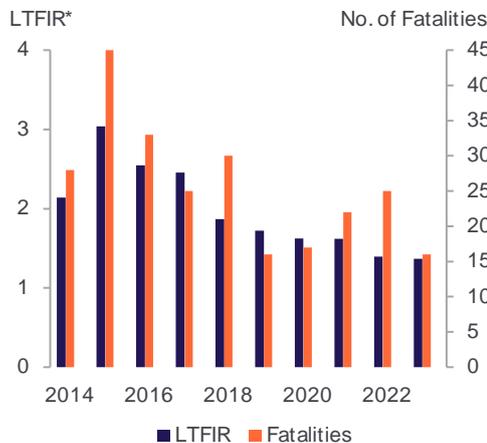
資材の地元調達は6年連続で増加して 250億ドルとなった。この数値を公表している11社のうち、8社で増えている。Kinrossの Manh Choh プロジェクトなど拡張プロジェクトの支出が増えた。地域コミュニティへの裁量的支出は前年比で 16% 減って 3億3300万ドルだった。17社中Polyus が最大で 8500万ドルを支出した。

労働災害による死者は 16人、2020年来の最低

鉱山生産活動は危険を伴い、従業員はさまざまナリスクに晒される。社員の健康と安全の維持は生産現場にとって非常に重要で、どの産金企業も労働災害ゼロを目指している。2023年のレポートに含まれる産金企業で起こった事故による死者は 16 人だったが、これは2020年来で最も少なく、2015年の45人から大幅に減っている。8社は2023年の死亡事故ゼロであった。

休業災害度数率 (LTIFR) の平均は下落傾向が続き、前年比で 2% 減って、実労働時間100万時間につき 1.4 であった。Harmony の LTIFRが最も高く100万時間につき 5.5 件の災害があった。これは前年比で 3% 減っており、2015年来で最も少ない災害件数率となったが、地下深く狭い鉱山での作業の危険度の高さを表している。Solidcore Resources は、労働災害の防止策を実行したことでカザフタンでの事故数が減って、100万時間につき 0.65 の災害件数となり、過去10年で最も少なかった。

死亡事故と休業災害度数率の平均



出典: 各社レポート、メタルズフォーカス



メタルズフォーカスについて

メタルズフォーカスは世界でも屈指の貴金属コンサルティング会社。ゴールド、シルバー、プラチナ、パラジウムのマーケットリサーチを専門とし、定期的なレポートや需給及び相場予想、特定の要望に応じたコンサルティングを提供している。

メタルズフォーカスのレポートとコンサルティングは、高度なデータ分析と詳細な現地調査の両方をもとにしたリサーチに基づく。我々のアナリストは頻繁に主要マーケットに赴き、生産者、メーカー、エンドユーザーまでを含めた関係者に取材をして直接入手した情報をレポートに役立てている。

『Gold ESG Focus』について

『Gold ESG Focus』は2014年から2023年の間で、主要産金企業17社に対して主な ESG 指標を使って幅広く比較を行った報告書となる。読者が ESG の観点から各社をよりよく理解できるとともに、産金産業における ESG の傾向の把握に役立つことを目指した。

取り上げた産金各社: Agnico Eagle、AngloGold Ashanti、B2Gold、Barrick、Endeavour Mining、Gold Fields、Harmony、IAMGOLD、Kinross、Newcrest、Newmont、Northern Star、Polyus、Solidcore Resources.

『Gold ESG Focus』の発表及び質疑応答は9月5日、ロンドンの Cutlers Hall にて、午後12時から行われる。

その他のレポート及びサービスについては下記までご連絡ください。

Charles de Meester, Sales Director

charles.demeester@metalsfocus.com,

Tel: +44 (0)7809 125 334

Neelan Patel, Regional Sales Director

neelan.patel@metalsfocus.com,

Tel: +44 (0) 7783 448 891